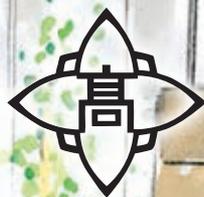




東陵



第28号

福岡県立嘉穂東高等学校同窓会報

発行/令和7年10月 飯塚市立岩1730の5 嘉穂東高等学校(全日制)同窓会

学校へ行こう!





ごあいさつ 東陵28号の発刊によせて

福岡県立嘉穂東高等学校(全日制)同窓会 第9代会長
花田 正 (高校23回生)

『統計的にみて、私が高校生だった1970年頃から2020年頃までは、夏の気温はそれほど高くなってはいませんでした。しかし、ここ数年は、夏が急激な猛暑になってきています』これは、去年の東陵27号で私が紹介したことからです。今年の夏はその危惧がさらにひどい状況になりました。皆様の諸活動において、多くの支障が生じているのではないかと推察しています。今後、夏の猛暑と極端な気象現象は常態化することを認識し、覚悟と対策をとりながら行動していかなければならないでしょう。残念なことです。熱中症になりやすい高齢者(私も含まれます)には酷な夏が毎年続くということになります。

昨年同様、高校の体育祭も、熱中症の危険のある学校運動場ではなく、冷房のある飯塚市体育館で行われました。その狭い空間の中で在校生たちは精いっぱい健闘し体育祭を成功させています。本部同窓会総会・懇親会の開催の月も11月に変更する予定です。

温暖化を止めるには、人類がエネルギー使用量を減らす方向に向かわねばならないのでしょうか、近年開発された生成AIや仮想通貨は、残念なことに膨大な電気エネルギーを費やしているとのこと。

今年も、同窓会各支部の総会が4月から各地で盛大に行われました。そして、本部総会・懇親会も『東の輪』というスローガンのもと、52回当番生が頑張って準備してきました。52回生は、学校の体育館で実施するという新しい試みに果敢に挑戦しました。同窓生の皆さんにとっては、懐かしい母校での開催で心躍りますが、当番生にとっては、自分たちで会場設営や後片付けをしなければならない等、今まで以上の労力と綿密な企画運営が必要になっています。その困難さの中、何度も実行委員会を実施し、同窓会当日を迎えています。その努力と団結力の成果として、最高の同窓会・懇親会を実施して

くれると信じております。

『本会は会員協同して同窓としての親睦を深め、母校の発展に尽くし、併せて社会奉仕につとめることを目的とする。』と本校同窓会は目的を定めています。総会ならびに懇親会をはじめとして各地区や各回生での会員相互の親睦を図る活動が行われています。また、母校への支援として奨学事業などの他、在校生や後輩たちへの有形無形の支援活動を実施しています。同窓会の存在理由の要は、会員相互の絆にあると考えます。少しでも関心をもって母校のため後輩のためにそれぞれができる範囲で支援・協力をしていく人的ネットワークこそが同窓会です。これを読まれている在校生の皆さんも、将来、同窓生としてネットワークに積極的に参加してください。

同窓会会員全体を把握できる貴重な冊子である同窓会名簿(令和7年9月版)が、おかげさまで完成し、購入希望者の方々に届けられています。購入された方々は、この同窓会名簿が悪用されないよう各自管理をお願い致します。

最後に、今回も無事、第28号東陵が発刊出来たことは、嬉しい限りです。編集等に携わられた広報部の皆さん、ありがとうございました。また、同窓会会長として、至らない点が多々あろうかと存じますが、会員の皆様には引き続き、本校同窓会にご協力をお願い申し上げますと共に、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。ご挨拶と致します。



ごあいさつ

福岡県立嘉穂東高等学校 第38代校長
井地 誠

2025年度嘉穂高等女学校・嘉穂東高等学校同窓会の開催に際し、衷心よりお喜び申し上げます。また、同窓会の皆様におかれましては、日頃から在校生並びに卒業生に特段の御理解、御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、篠崎博前校長の後任として、4月に着任しました校長の井地誠と申します。私自身、平成30年から3年間、主幹教諭として本校に勤務させていただいた経験があり、昨年度末に県教育委員会より嘉穂東高等学校校長と任命いただいた時は、嬉しさと共にその重責に身の引き締まる思いがいたしました。

さて、今年度の同窓会総会・懇親会は、2025年度同窓会総会実行委員長の三宅賢氏をはじめとする高校52回生学年幹事の皆様の御尽力により、久方ぶりの母校開催となりました。我々教職員及び生徒一同、大変喜んでおり、微力ではありますが、同窓の皆さまに母校を懐かしんでいただき、在学時代にタイムスリップしたかのような時間を過ごしていただきたく、心ばかりのおもてなしをさせていただきます。

この「東陵」に校長あいさつ文を掲載するとのお話をいただき、改めて「創立百周年記念誌」を読み直してみました。琴平山や龍王山などに囲まれ、穂波川と嘉麻川が運んだ肥沃な土壤が一带に広がる飯塚は、古代（縄文・弥生）から人々の生活の営みがあり、大陸から伝わった稲作を日本全域に広める大きな役割を果たした土地です。江戸時代には長崎街道の宿場町として繁栄し、オランダ文化を長崎から江戸まで運ぶ中継地の一つとして大きな役割を果たした町です。後に「シュガーロード」と呼ばれたこの街道で、いち早く多くの茶屋が軒を並べた町でもあります。今もなお、飯塚生まれの銘菓が日本だけではなく世界中で多くの人々を笑顔にしている、そんな素晴らしい町です。明治時代に入ると、日本は急速な近代化を迎え、1901年に操業を開始した官営八幡製鉄所と共に発展した筑豊炭田は現代日本の礎と言っても過言ではありません。古き時代から活気溢れる飯塚の地に、本校

創設者である伊藤傳右衛門氏が生まれ育ったのも必然であったのかもしれませんが。

伊藤傳右衛門氏の志を脈々と受け継いできた本校は、今もなお自由闊達な校風を引き継いでいます。前任の篠崎校長が仕掛けていただいた「生徒を主語にした」伝統を継承する教育活動が少しずつ形になってきています。学校行事（文化祭や体育祭など）は生徒会を中心に生徒が主体となって立案から実施まで進められています。従来までの教師主導型と違って、生徒たちがより楽しむことができる内容になるよう工夫を凝らし、議論を重ねていく姿はまさしく自由闊達そのものです。もう一つ、嘉穂東の伝統は何といても活発な部活動ではないでしょうか。部活動の加入率も80%近くになっています。顧問の先生方や外部指導者の方々の熱心な指導を受けながら、生徒たちもより高みを目指し、仲間と共に切磋琢磨する姿はとても美しく私の目に映ります。文化部も活発に活動しながら、様々な大会に出場しています。運動部も多くの部が県大会に出場し、九州大会・全国大会に勝ち進む部もあります。本年度は、陸上競技部（円盤投げ）と水泳部が広島県で開催されたインターハイに出場しました。

学習活動においては、生徒一人に1台のタブレット端末が配給され、ICTを駆使した授業が展開されています。また、授業以外でも、生徒個々の進路希望と学習到達度に合わせて、AIによる学習ツールも活用しています。また、産学官と連携して、本校独自のGLP（地域グローバルリーダー育成プログラム）を立ち上げて、地域活性化人材の育成を目指しています。

伊藤傳右衛門氏の志を旨に、生徒たちが郷土を愛し、郷土を発展させる人材と成るべく、先輩方が大切に引き継がれてきた伝統を継承しつつ、時代の変化に応じた新しい風を受け入れながら、新たな伝統を築いています。つきましては、今後も母校後輩たちを温かく見守っていただき、更なる御支援、御協力を賜りますことをお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。



文化祭(東風祭)

本年度のテーマは「青春を掴み取れ」です。「今しかない自分の青春を大切に、新しいことに挑戦することを恐れずに未来に向かって前進してほしい」という願いを込めて生徒たちが設定しました。3か月前から生徒実行委員を募り、生徒が中心となりテーマの決定や企画の運営を行いました。

教室企画では、「東物語」のテーマのもと、各クラスで昔の物語を選択し、その物語の世界観で展示・体験・実演型の企画をクラスで作ることができました。



2025年
6月
6日・7日

また、文化部は日頃の活動の成果を発揮し、ステージ発表や展示で文化祭を盛り上げてくれました。



2025年
9月5日

体育祭開催(東魂熱響)

台風15号が接近し、開催を心配したのですが、生徒たちの体育祭への熱い思いが天に通じたのでしょうか、無事に開催することができました。会場は、昨年度同様、飯塚市総合体育館をお借りして実施しました。

本年度の体育祭テーマは「東魂熱響(とうこんねっきょう)」です。「燃えるような闘志と嘉穂東の魂を胸に、心をひとつにして競技に挑む」という願いを込めて生徒たちが設定しました。夏休み前から生徒実行委員を募り、生徒が中心となって競技の企画・運営を行いました。

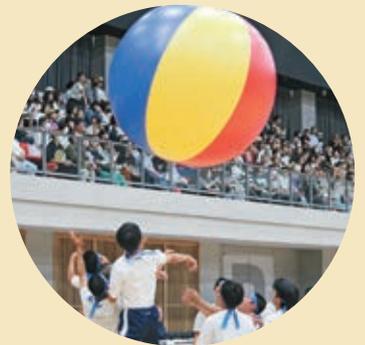
オープニングは、嘉穂東高校に受け継がれる伝統の演舞「御神楽」です。錫杖と扇を手に、華麗でしなやかな舞を披露しました。開会式の後、「応援合戦」が行われました。各ブロックによる熱いパフォーマンスが披露されました。その後、「2人3脚スウェーデンリレー」「玉入れ騎馬戦」「借り物競走」「フラフープバスケット」「大玉運び」「タグ取り」など、創意工夫に富んだ競



技や演技が続き、あっという間に時間が過ぎていきました。フィナーレは「全体応援」

です。嘉穂東の伝統を引き継ぎ、さらに発展させていこうという生徒たちの思いが伝わる演技でした。

屋内での体育祭という新しいスタイルは改善の余地が残っています。次年度に向けて更に進化させていこうと考えています。





嘉穂東高校 母校の動き



令和7年度 教職員の異動

【退職】	論 矢ヶ崎 富士子 教 諭 高尾 昌庸	
【転出】	校長 篠崎 博 香住丘高校へ(校長) 副校長 太田 邦彦 鞍手竜徳高校へ(校長) 教頭 末次 敏春 小倉高校へ 主幹教諭 池端 敏春 嘉穂東高校(教諭)へ 主幹教諭 大庭 真一郎 玄界高校へ 教諭 遠藤 剛 稲築志耕館高校へ 教諭 遠藤 靖 直方高校へ 教諭 岩下 悦子 筑豊高校へ 教諭 板井 智裕 嘉穂東高校(主幹教諭)へ 教諭 羽田野 浩 築上西高校へ 教諭 波多江 真綾 福岡中央高校へ 教諭 酒井 美優 玄界高校へ 教諭 田中 誠士 事務局へ	
【転入】	校長 井地 誠 修猷館高校より 副校長 長尾 俊太郎 嘉穂総合高校より 教頭 吉澤 新 嘉穂東高校(定時)より 主幹教諭 中村 美恵子 福岡魁誠高校より 教諭 中島 有紀 宗像高校より 教諭 村井 哲也 鞍手高校より 教諭 原口 翔伊 香椎高校より 教諭 田中 裕希 田川高校より	
【新規採用】	教諭 有本 誠 汰 教諭 中尾 尚 吾 教諭 渡邊 愛 花 N E T チャンザ・チコンディ	

卒業生進路実績 ※合格者延べ人数

第77回生(令和7年3月卒業)進路状況

○国公立大学	9名	
・九州工業大学	3名	・福岡県立大学 2名
・北九州市立大学	2名	・宮崎大学 1名
・北見工業大学	1名	
○私立大学	101名	
◀県内▶95名		
・福岡大学	27名	・九州国際大学 11名
・九州産業大学	10名	・西南学院大学 8名
・近畿大学産業理工学部	6名	・九州共立大学 5名
・筑紫女学園大学	5名	・福岡工業大学 4名
・九州栄養福祉大学	4名	・純真学園大学 3名
・福岡国際医療福祉大学	1名	・西南女学園大学 2名
・中村学園大学	2名	・福岡女学院大学 1名
・久留米大学	1名	・九州女子大学 1名
・令和健康科学大学	1名	・日本経済大学 1名
・第一薬科大学	1名	・国際医療福祉大学 1名
◀県外▶6名		
・立命館アジア太平洋大学	1名	・長崎外国語大学 1名
・崇城大学	1名	・創価大学 1名
・大阪産業大学	1名	・関西福祉科学大学 1名
○公務員最終合格者	72名	
・裁判所事務官	2名	・国家公務員 6名
・福岡県職員	4名	・福岡市職員 3名
・飯塚市職員	3名	・嘉麻市職員 2名
・北九州市職員・宮若市職員・中間市職員・小郡市職員		
・篠栗町役場職員(各1名)		
・飯塚市消防・粕屋北部消防・粕屋南部消防		
・春日/大野城/那珂川消防・東京消防庁(各1名)		
・福岡県警察	2名	・自衛官 24名
・一般曹候補生	13名	・刑務官 2名
・航空学生	1名	
○短期大学	7名	○医療系専門学校 16名
○その他の専門学校	27名	○民間就職 13名

部活動実績報告

【陸上競技部】

■全国高等学校総合体育大会 陸上競技選手権大会
[会場:ホットスタッフフィールド広島(広島広域公園陸上競技場)]
令和7年7月29日
文野 径(3年)男子円盤投

■全九州高等学校総合体育大会 陸上競技選手権大会
[会場:SAGAスタジアム]
令和7年6月13日~16日
文野 径(3年)男子円盤投
[北部九州5位]

■九州高等学校 新人陸上競技大会
[会場:沖縄県総合運動公園 陸上競技場]
令和7年10月9日(木)~12日(日)
木村 風香(2年)女子円盤投
又吉 康睦(1年)男子円盤投



【水泳部】

■全国高等学校総合体育大会水泳競技選手権大会
[会場:ひろしんビッグウェーブ(広島市総合屋内プール)]
令和7年8月17日
塩田 皓(2年)男子400m自由形

■全九州高等学校総合体育大会 水泳競技選手権大会
[会場:パーソルアクアパーク宮崎]
令和7年7月18日~21日
手島 慶二(3年)100mバタフライ・200mバタフライ
塩田 皓(2年)200m自由形・400m自由形
宮房 慧(2年)1500m自由形



■全九州高等学校選手権

新人水泳競技大会
[会場:福岡市立総合 西市民プール]
令和7年9月27日~28日
塩田 皓(2年)
200mバタフライ・400m自由形
宮房 慧(2年)
200m自由形・400m自由形

【弓道部】

■九州高等学校弓道 新人選手権大会

[会場:博多の森弓道場]
令和7年11月1日(土)
渡邊 禮也(2年)



【その他県大会出場クラブ】

- 野球部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部 ※ベスト16(過去最高成績)
- 卓球部
- ※筑豊ブロック予選会 ※男子総合優勝、女子総合優勝
- 男子バレーボール部
- 弓道部
- バドミントン部
- サッカー部
- 吹奏楽部
- 放送部
- 陸上競技部



同窓会支部だより

総会・懇親会・同期会

第20回 嘉女・嘉穂東会 in くまとの報告



桜の花も咲き残ってくれる中、例年通りの形で2025年4月5日11時半より、アークホテル熊本城前「朝顔の間」にて30名のご出席を頂き開催することができました。

本部より花田会長ほか2名の役員の方、福岡支部より小川支部長ほか2名の役員の方、関西支部より伊藤副支部長ほか1名の方、今年度着任なされた母校の井地校長先生にもご出席いただきましたことを厚くお礼申し上げます。また、嘉穂高校熊本支部より3名ご出席頂きました。

恒例の熊本城城主くじは、本部副会長、緒方圭子様が見事引き当てられ、新しい「城主様」となられました。熊本城においての際は「城主芳名板」で「福岡県立嘉穂東高等学校…」と検索していただけたら歴代の「城主様」のお名前がたくさん出てきますので、是非ご覧になってください。校歌斉唱では、50回生の森藤さんと51回生の多賀谷さんの元応援団のお二人の力強いエールを頂いて、盛大に歌うことができました。今年99歳になられた嘉女26回の前田燐子さんと電話を繋ぎ、電話口で校歌を歌っていただくことができました。

最後になりましたが、皆様のお力添えのおかげで20回の節目を迎えることができました。実行委員一同心からお礼申し上げます。

また来年も4月第一土曜日に開催の予定でおります。皆様どうぞ熊本にお越しください。

代表 島山 祐子(高校32回生)



第16回 関西支部総会・懇親会の報告

令和7年4月19日(土)、第16回関西支部総会・懇親会が天満橋の錦城閣で開催されました。

今回は役員改選という節目の開催でもあり役員、幹事は今までより一層力が入った会員の勧誘になりました。

新役員には私(21回生)の他に副支部長に50回生の森藤さんも任命され一気に平均年齢が若返りました。森藤さんには多くの期待をするものです。

例年の案内状への「手書きでのお誘いの手紙」の封入の件数を増やし、電話でのお誘いの呼び掛けもより多くの会員にすることになり、その結果、会員50名、来賓、当番生、ゲスト会員(関西在住以外)など30名で計80名の参加で従来になく賑やかな総会・懇親会となりました。

懇親会ではいつものように「長寿祝い」「大福引大会」「会員作品展」「当番生のビデオ」そして幹事の50回生宮有さん(作業療法士)による認知症予防講座「脳が喜ぶエクササイズ」の講演等どれも好評で会を盛り上げてくれました。

今回新しい試みとして同行者の参加も可能と



し、車椅子での参加(介護者は娘さん)、ご夫婦(奥さんは会場近くを観光)、また「物品カンパ」など新しい試みも取り入れました。

生き生きと交流できる支部を目標に、心のこもった呼びかけや企画で繋がりを広めて会員の参加を増やしたいと考えています。

関西支部 支部長 伊藤 日出雄(高校21回生)



同窓会支部だより

総会・懇親会・同期会



2025年 東京支部 総会・懇親会のご報告

令和7年5月24日(土)に東京支部総会・懇親会を昨年と同様のホテルグランドアーク半蔵門で開催し、70名の方々に参加して頂きました。

今年の東京支部当番の25回生は、昨年初参加だった篠田芳典氏の声掛けにより、全国から9名の方にお集まり頂き、準備作業から会のスムーズな進行までご尽力して頂きました。厚くお礼を申し上げます。

総会では、役員紹介の後、前年度の活動・決算報告、今年度の活動予定・予算案が審議され承認されました。懇親会では、同窓会本部から花田正会長、原田佳尚副会長(25回生)、野見山洋子副会長(25回生)、本校から井地誠校長、福岡支部から野見山武典幹事長(25回生)、関西支部から伊藤日出雄支部長と森藤健文副支部長、飯塚市からは藤江美奈副市長にご出席いただきました。また東京福岡県人会で親交ある嘉穂高校、飯塚商業高校、稲築高校、西田川高校のOBの方々をお招きし、広く交流を図ることができました。



和やかな歓談の後には卒業年次ごとにメンバーが壇上に上がり、自己紹介・記念写真を撮る時間を設けました。余興では直方から参加の栗原久美子氏(25回生)による手品が披露されました。その後、出身中学ごと壇上に上がり中学校歌を伴奏に合わせ歌いました。この試みは毎年、参加者の新たな発見と出会いを生み、楽しい催しとなっています。そして当番幹事(25回生)によるくじ引きイベントでは、景品として福岡の名品を楽しんで頂きました。

懇親会の司会では昨年同様、俳優の芳野友美(51回生)さんにもお手伝いをいただきました。

終盤は今年度の本部当番52回生の三宅賢実行委員長から、今年10月の飯塚本部の同窓会は母校の体育館で行う等のお知らせがありました。

そして森藤健文氏に力強い応援エールを切って頂き、皆で校歌を合唱し、最後に篠田芳典氏の万歳三唱でお開きとなりました。ご参加の皆様、誠にありがとうございました。

東京支部 支部長 伊藤 房憲(高校20回生)



2025年 福岡支部総会・懇親会の報告

去る6月21日、真夏日の暑い中、第32回福岡支部同窓会は、八仙閣本店にて120人弱の同窓生の出席を得て盛会裡に終えることが出来ました。役員、幹事の皆さん、お疲れさまでした。そして三宅実行委員長を初め本年度当番52回生の皆さんには当日の運営について大変お世話になりました。皆さん、ありがとうございました

母校嘉穂東から井地校長、同窓会本部から花田会長、関西支部から伊藤支部長、東京支部から田原副支部長、熊本会からは畠山代表をはじめ多くのご来賓にもお越しいただきありがとうございました。

総会講演会では、元県立筑紫丘校長で現在も一教諭としてご活躍の渡邊啓明先生から「定年を迎えて～教育現場の不易と流行～」という演題で、「何があっても守っていかなければならないもの」と「逆に思い切って壊していかなければならないもの」があること等、示唆に富んだご講演をいただきありがとうございました。

その後の懇親会では、傘寿(16回生)と古希(26回生)のお祝いの後、「我が道遙歌」を大きな声で合唱し、「博多どんたく総踊り」を全員シャモジを持って輪になって踊りました。みんなのボルテージはさらに上がって行き、元応援団のエールをバックに校歌斉唱へと続き、会場の雰囲気は最高潮に達しました。最後は博多恒例の「祝い目出度」

と藤さんに手一本を入れていただきめでたくお開きとなりました。

大いに盛り上がり、楽しくて、素晴らしい同窓会となりました。皆さん、来年も福岡で待ちます。

福岡支部 支部長
小川 民夫(高校20回生)



高等学校同窓会
・懇親会



第32回 嘉女・嘉穂東高等学校同窓会
福岡支部総会・懇親会





令和7年度 創立記念式典及び講演会 | ■2025年5月9日(金)

本校は、1910年、伊藤伝右衛門氏により創立され、今年で115周年を迎えます。



川上 和彦さん

■創立記念式典

井地校長の式辞では、校訓「清純・礼節・理智・勇気」は、人生において大きな支えになっていること、また伝統は守るものではなくさらに発展させるものであると述べられました。そして、向上心を持ち、挑戦を恐れず、自分の可能性を広げていってほしいと生徒達を激励されました。

花田同窓会会長は、「嘉穂東高校」の校名や校歌の歌詞の由来等について、詳しく説明されました。そして、これからも嘉穂東高校卒業生3万人の思いを受け、明るく、爽やかで、自由闊達な校風を受け継いでいって欲しいと話されました。



■創立記念講演会

今年度の創立記念講演会は、講師に川上和彦氏をお招きし「君達の果てしない未来に向けて!」というテーマでご講演いただきました。講師は、高校29回生でバレー部の主将も務められました。

高校卒業後、駒沢大学に進学されますが、生活費のため100種類のアルバイトを経験されたそうです。その後、学生時代にお手伝いに行った選挙

がきっかけで、衆議院議員公設第一秘書、世田谷区議会議員(連続3回当選)、第57代世田谷区議会議長、参議院議員公設第一秘書を経て、現在は「飯塚観光マイスター協会会長」として活躍されています。

今までの人生経験から学んだことを哲学者パスカルの言葉や元プロ野球選手イチローの名言を引用して「考えることの大切さ」をわかりやすくお話をされました。

続いて「すべての物事は一辺では成り立たない(多様性)」「人間はひとりで生きていけないけれど、決断するのは自分自身で決しなければならぬ」「当たり前という名の奇跡に感謝する」「神様は超えられない試練は与えない」「自分褒め(苦しい時のために)」「人生の本舞台は常に将来に在り」などのお話をされました。

最後に「小さくまとまるな!大きく生きろ!」妥協や無難に済ませることなく、常に高みを目指し積極的に行動すること。何故なら『君達には果てしない未来があるのだから!』と生徒達にエールを送られました。

生徒一人ひとりが、自身の考え方や将来について改めて考えさせられる有意義な時間になったことと思います。貴重なご講演ありがとうございました。

講演終了後は、生徒代表謝辞及び花束贈呈、応援団から講師にエールが送られました。

同窓会副会長 野見山 洋子(高校25回生)

令和6年度 同窓会入会式 | ■2025年2月28日(金)

卒業式の前日に、母校体育館において同窓会入会式が行なわれました。今年は、210名の卒業生が同窓会の会員となりました。花田同窓会会長からは入会歓迎と同窓会の目的や活動報告、同窓会広報誌「東陵」についても紹介されました。また、今年度の同窓会総会・懇親会が母校体育館で実施されるとの報告もありました。各クラスの幹事の紹介があり、幹事代表の横山隼人君が「それぞれの道に進みますが、

本校の卒業生としての誇りと同窓会の会員であるという自覚を持ち、日々精進していきます」と力強く挨拶をしました。高校生活で学んだことや出会った友達と大切に、夢の実現に向けて新しい一歩を踏み出してください。

同窓会 副会長 野見山 洋子(高校25回生)



同窓会奨学金授与式 | ■2025年3月14日(金)

第77期生を対象とする嘉穂東高校同窓会給付型奨学金の授与式が母校校長室にて執り行われました。平成27年に創設され今年で11回目を迎えます。校長推薦で選ばれた3名の生徒に花田同窓会会長より、保護者の皆様、先生方、同窓会役員の方々の同席のもと、奨学金が手渡されました。

この奨学金は、同窓会会員による「スクールサポーター」の基金により実現されています。授与された生徒達からは、感謝の気持ちと同窓

生としての誇りを持って努力していくという挨拶がありました。この制度が、より高い目標を持った生徒の一助になる事を強く願っています。

広報部 林田 典子(高校31回生)



2024年同窓会総会・懇親会の報告

■開催日:2024年10月26日(土) ■場所:のがみプレジデントホテル



総会では提出された全議案が可決され、役員改選による新役員も紹介されました。懇親会のオープニングでは吹奏楽部による演奏、その後校旗入場、そして当番51回生による開会宣言により、待ちわびた時間の幕が開きました。

花田同窓会会長並びに来賓の方々によるご挨拶、そして乾杯。まず還暦を迎える35回生の写真撮影で宴は始まり、ステージは真っ赤なちゃんちゃんで鮮やかに彩られました。

続いて14回生による詩吟の披露があり、これには11回生方も飛び入り参加、その後29回生と44回生によるハワイアンフラダンスで華やかなステージイベントとなりました。当番生による御神楽演奏とアトラクションは続き、お待ちかねの福引抽選会が賑やかにスタート、会場のあちこちで「やったー!」「当たったー!」の歓声が響き渡りました。

次回当番生の52回生への引継式を行った後、応援団演奏、そして吾



が道通歌と校歌を会場内でひとつの円になって全員で肩を組んで斉唱し、まさに同窓の絆を感じた瞬間でした。

小川福岡支部長による万歳三唱、最後の閉会宣言では51回生の大庭実行委員長が会場中央の台に上がって、来場者全員に向かってお礼のご挨拶、来場者を感動の渦に!旧役員から花束をいただくサプライズも。

今回当番51回生の皆さんは新たな試みで「当番生負担金」を徴収しないという選択のもと、多くの苦勞を経てここまで辿り着きました。本当にお疲れ様でした、そして素晴らしい感動をありがとうございました。

広報部部長 辻塚 恵子(高校42回生)

同窓の絆を

感じた瞬間



同窓生の活躍

◎作業療法士になろうと思ったきっかけは?
↓高齢社会や怪我病気のの方々を手伝いたいという思いから「人と関わる仕事」に関心を持ちました。さらに、身近に医療従事者がいたことや、自身のスポーツ経験での怪我を通して医療を身近に感じたことがきっかけで、療法士の道を選びました。その結果、現在は精神科病院で作業療法士として働いています。

◎認知症初期集中支援チーム(オレンジチーム)ではどんな活動をされていますか?
↓オレンジチームは、医師と医療介護福祉の専門職からなるチームです。認知症の人またはその疑いのある人や、そのご家族を訪問し、本人の様子の確認や家族への助言を行い、必要な医療や介護サービスの利用のサポートにつなげます。チームの普及活動、地域貢献活動として、包括支援センターからの依頼を受け認知症予防教室を実施しています。

◎簡単にできる認知症予防は?
↓「コグニサイズ」というものがあります。運動と認知課題(計算、しりとりなど)を組み合わせた運動法です。脳を刺激しながら運動を行うことで脳機能が活性化し、認知症予防が期待できる
例えば・ウォーキングをしながら、しりとりや計算な



大阪在住
作業療法士・関西支部幹事

宮有 雅浩さん(高校50回生)

◎母校の生徒にメッセージを
↓これから歩む道の可能性は無限大です。どんなことでも楽しんで取り組んでみて下さい。物事を被害的に捉えるのではなく、楽しさを見つけて、少し楽観的に構えて、無理せずボチボチ頑張る。笑顔の多い日々を送ってほしいと思います。

◎在学中の思い出は?
↓水泳部に所属していた当時、ハードな練習で、毎日クタクタな日々を送っていました。部は先輩後輩と仲が良く人間関係にも恵まれていて非常に楽しい時間を過ごせました。体育祭の部活動対抗リレーで水着を着て運動場を走り抜けたことも良い思い出です。

1年1組のクラスメイトと文化祭で「○○ママのおはロック」を練習して披露したことなど、1組は個性豊かで毎日が楽しかったことも思い出します。



ど行う運動・椅子に座って足ふみをしながら、30まで数える。その際に、3の倍数の時に手を叩く。更に難易度を上げると、3と7の倍数の時に手を叩く。

◎高校卒業後は?
↓福岡県外の専門学校へ進学しました。専門知識を学び、国家資格を取得。大阪で勤務24年が経過しました。自分と異なる人生経験を積まれた患者様にリハビリを提供していますがそれ以上に教わることも多く、充実しています。



ごあいさつ

嘉穂高等女学校・嘉穂東高等学校
2025年度同窓会総会 実行委員会 実行委員長

三宅 賢 (高校52回生)

『嘉穂東の水を飲んだ者は、また嘉穂東に帰る。嘉女の水を飲んだ者も同じくここに帰る。』

この時間を皆様と共有できますことに、深い意味を感じております。』思えば12年前、私が初めて同窓会に参加した際、坂本実行委員長から「つながりの大切さ」を学んだことを今でも鮮明に覚えています。

そして今年度、当番回生を迎え、私たち52回生は、大庭前実行委員長をはじめとする51回生の皆様から、東志(ひむかし)東生としての志を引き継ぎました。

『東の輪 2025 情熱と誇りを持って』をテーマに掲げ、母校体育館での開催、そして先輩方と肩を組み、寄り添いながら、大きな「東の輪」をつくり、嘉穂東の校歌を歌う日を夢見て活動を進めてまいりました。

実行委員長として活動してきた一年。至らない点も多く、実行委員のみなさんには本当に助けってもらい

ました。卒業以来会う機会がなかったメンバーでしたが、一緒に取り組むことができ、在学中では味わう事の出来なかった経験をさせてもらいました。みんながいてくれたからこそ私は前を向いて進んで来れたと思います。本当にありがとうございます。

また、熊本会、関西支部、東京支部、福岡支部総会・懇親会においても、私たち52回生を温かく迎えていただき、本当にありがとうございました。

最後になりましたが、多くの皆様に支えていただき、この日を迎えられましたこと、そしてご来場いただきましたことに、心より感謝申し上げます。今、私たちの心はひとつです。本日ご出席の皆様が最高の笑顔でこの会場を後にされますよう、心を込めておもてなしさせていただきます。最後まで時間の許す限り、仲間との再会をお楽しみ下さい。



2026年度 総会・懇親会のお知らせ

当番期：高校53回生



2026年度
同窓会総会
実行委員長
島川 佳代
高校53回生

2026.11.7 土 会場：パドドゥ・ル・コトブキ

スローガン：「東縁（ひがしえにし）～集え、時を超えて～」

同窓会会員の皆様、当日は私たち53回生がお待ちしております。

皆様と楽しい時間が過ごせるように準備を頑張っておりますので、応援よろしくお願いたします。

本部役員 (R6. 定時総会最終日～ R8. 定時総会最終日)

会 長	花 田 正 (高23)
副 会 長	原 田 佳 尚 (高25)
	野見山 洋 子 (高25)
	緒 方 圭 子 (高25)
	植 野 徹 (高37)
広報部長	辻 塚 恵 子 (高42)
企画部長	眞 崎 偉 作 (高48)
監 事	大 塚 修 一 (高19)
	花 村 憲 次 (高23)

東京支部役員 (R7.4～)

支 部 長	伊 藤 房 憲 (高20)
副支部長(渉外)	井 手 せつ子 (高17)
副支部長/事務局	田 原 親 志 (高20)
副支部長/	
広報・事務局補佐	柴 田 芳 彰 (高22)
事務局員/会計	村 山 夕紀子 (高20)
会計監査	豊 田 俊 文 (高18)
	花 田 扶弘美 (高22)

福岡支部役員 (R6.4～)

支 部 長	小 川 民 夫 (高20)
副支部長	藤 正 敏 (高18)
	山 内 真紀子 (高19)
事務局長	野見山 清 豪 (高24)
事務局次長	宮 武 信 介 (高47)
広報局長	原 中 圭 子 (高35)
広報局次長	戸 田 徹 (高46)
会 計	入 江 裕 章 (高21)
	淀 川 雄 治 (高21)
幹 事 長	野見山 武 典 (高25)
副幹事長	山 本 美 輝 (高38)
会計監査	里 弘 和 (高22)
	高 尾 英 樹 (高28)

関西支部役員 (R7.4～)

支 部 長	伊 藤 日出雄 (高21)
副支部長	浅 川 浩 (高27)
副支部長	森 藤 健 文 (高50)
事務局長	花 村 二 郎 (高26)
会 計	平 田 和 洋 (高27)
会計監査	富 家 久美子 (高24)
顧 問	長谷川 浩 二 (高16)

本部だより

■同窓会当番説明会 2025.2.19(水)

高校53回生(平成13年卒)、高校54回生(平成14年卒)同窓会委員への当番説明会を立岩交流センターにて開催いたしました。役員会主催で、来年当番を迎える53回生、再来年当番を迎える54回生の同窓会委員を迎え、当番の流れ(実行委員会準備から解散までの概要・組織図の例)を説明いたしました。早めに声掛けをすることにより、10月の総会・懇親会で「次期当番生」としての準備が少しでもスムーズにできればと思います。今年の当番52回生も同席し、今後の情報交換のための顔合わせができました。当番生の皆さんよろしくお願いたします。



企画部 部長 眞崎 偉作(高校48回生)

■年会費について

平成27年より正会員の会費として、同窓会会員の皆様から年会費3,000円をご納入いただきたく事が決定し毎年、趣意書と振込用紙を封書にて会員の皆様に発送させていただいております。現在、母校では生徒数が減少し準会員の会費収入は以前と比べて減少しております。同窓会本部として学校への物品購入にも支援を行い、基金積立金やクラブ後援会にも毎年、定額を繰入れしてきました。

同窓会のさらなる充実と財政基盤の確立、母校の発展のため、年会費納入につきまして皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

編集後記

今年の夏は、猛暑に加え、線状降水帯が各地に発生し洪水の多かった夏もすぎ朝夕の風にはすこしづつ秋を感じられるようになりました。

今年の同窓会は、嘉穂東高校の体育館での開催、当時と変わっているところはあるけれど、同級生とあえば気分は高校生。最近では、同窓会離れが多くなってきたように思えます。参加されていない友人に、行ってみたら楽しかったことうれしかったことなど伝えていただき参加者が増えるともっと楽しくよりよい同窓会になるとと思います

今後も「東陵」「東陵・特別版」に加え、同窓会の公式ホームページで皆様からメッセージや多岐に亘る情報を発信してまいります。卒業生のご活躍や同期会の報告、恩師の近況など皆様からの様々な情報お待ちしております。

広報部

高校31回生同期会

コロナ禍で、集まる事が出来なかった我々31回生は、有志の声掛けで、8月10日にのがみプレジデントにて同期会を行いました。

日本中を騒がせた線状降水帯に新幹線を止められ、数人が到着できなかった状況の中、27名の参加により、同期会は始まりました。志半ばで逝ってしまった友人達の追悼からひとり一言の挨拶、そして嘉穂東高校に纏わるクイズ大会では景品をかけてグループ別に大盛り上がりでした。

瞬間であの頃に戻りました。応援団のエールと校歌斉唱で締め、次の同期会の約束をして会は終了しました。雨の心配があったので二次会無しでの解散でした。『また会おう!!』

大坪 英明(高校31回生)



母校Watch!

自転車通学の生徒たち、ヘルメットは?

改正道路交通法の施行により、すべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となっています。

登校時、母校の近くを通ったので、しばらく見ていると…素晴らしい!みんなヘルメット着用、しかも通用門前の坂道では自転車を降り、押して先生にあいさつして登校していました。車や歩行者に気を付けて、これからも安全に通ってくださいね。

広報部 伊藤 浩之(高校32回生)



スクールサポーター募集について

常時受付中!

「嘉穂東高校同窓会奨学金」制度が創設され毎年数名の生徒に授与しております。さらに1名でも多くの生徒への授与を目的として、「スクールサポーター」というかたちで、嘉穂東高校同窓会への寄付金を受け付けております。1口2,000円となっており、5口以上の企業・団体・個人の方は、ご希望により同窓会ホームページ内のバナーに掲載・ご紹介させていただきます。下記の郵便振替にてお申込みください。

◎郵便振替:新飯塚駅前郵便局 01790-8-142749「福岡県立嘉穂東高等学校同窓会」

◎スクールサポーターについてのお問い合わせは、norikohayashida8@gmail.com(担当:林田)まで

スクールサポーターのご紹介(50音順・敬称略)

■秋好尚美(高40回生) ■(株)アーピックホームズ(高31回生) ■飯塚信用金庫(卒業生多数) ■社会保険稲築病院(高47回生) ■井上洋服店(高24回生) ■今心(株)(高32回生他) ■筑豊情報マガジン「WING」(高51回生) ■植野徹(高37回生) ■(株)エース・デンタル(高30回生) ■Enishi CM Technology(株)(高30回生) ■榎本多賀子(高30回生) ■大塚修一(高19回生) ■大塚石材株式会社(高32回生) ■OKINAWA KISEKIHOUSEEAST&WEST(高30回生) ■オートテクノダ(高46回生) ■鹿子嶋鯉佳(高30回生) ■餃子とソーワ月光(高41回生) ■医療法人康和会「アイ歯科医院」(高17回生他) ■佐野医院(高24回生) ■(株)昌栄電設(高49回生) ■社会福祉法人清知会「なつき保育園」(高32回生) ■(株)玉置(卒業生多数) ■(株)ナカジマ建設(高44回生) ■中嶋プロバン瓦斯(株)(高35回生) ■(株)西田建設(高39回生) ■(株)ニッソー(嘉女29回生) ■(株)ネクストジェネレーション(高41回生) ■(株)のがみ「のがみ総合グループ」(卒業生多数) ■野見山洋子(高25回生) ■(株)バトス(高30回生) ■花田正(高23回生) ■花村電設(高25回生) ■林田典子(高31回生) ■原田敏規(高23回生) ■廣瀬千鶴枝(高30回生) ■フェーズワンジャパン(株)(高30回生) ■(株)マクリー「うめはうす」(高24回生) ■松尾等(高32回生) ■松本益美(高12回生) ■村上ホーム(株)(高24回生) ■吉岡スタジオ(高17回生) ■楽天生命保険(株)代理店(佐藤伸一郎)(高28回生) ■(株)リースキン・サトー(高30回生)

同窓会公式HPについて

役員会や理事会の案内、理事会議事録、同窓会活動の報告、学校行事の紹介、卒業生の話題、各支部総会の報告、創立百周年・百十周年記念の時の情報、刊行物の案内など、母校の情報を満載しております。また、スクールサポーターとしての寄付金(1口2,000円)を5口以上ご協力いただいた企業・個人の方はHP画面の下のバナー部分で紹介させていただくことが可能となっております。(右記参照)

●会員の皆様の住所等変更については、ホームページ内のお問い合わせページからも受け付けております。どうぞご利用ください。

同窓会公式ホームページでは、同窓生の皆様からの情報をお待ちしております。

●同窓会公式ホームページアドレスは <https://kahohigashi-doso.net> です。

●同窓会本部のInstagramを開設しました。「kahohigashi_doso」で検索して、フォローをお願いします。

ホームページと併せてインスタグラムでも同窓会活動やお知らせ、母校についての情報もお伝えしていきます。

